

【資料2】2年生 生活科「大きなあれ わたしのやさい」の単元で

	活動	気付きの質を高める場の設定	多様な学習活動（見付ける・比べる・たとえる・試す・見通す・工夫するなど）	対話的な学びの工夫	子供の姿
大きなあれ わたしのやさい	ミニトマトを植えよう どうしたらいいのかな	・児童の多様性を生かす	1年生の時に朝顔を育てたときのことを振り返り、どのように野菜を育てればよいのか、見通しを持つ。	グループ交流やおうちの方への聞き取りなどを通して、野菜の育て方を考えるようにした。	 だれに聞けばいいかな？ ・・・3年生、おうちの人、やさい作りの名人
	ミニトマトを植えよう 北山さんに聞こう	・試行錯誤や繰り返す活動	野菜作り名人の北山さんに、野菜を育てる準備や工夫を教えていただきながら、ミニトマトを植える。そして、ミニトマトの苗の様子を観察し、世話の仕方を考える。	JAの北山さんに来ていただいて、ミニトマトの育て方の話を聞き植えていった。前時の話し合いの中で、もっと知りたいことをまとめておき、北山さんに質問する場を設けた。	 名人の北山さん  植木鉢に手であなをあけて苗を植えるよ
	ほかにも野菜を植えよう	・児童の多様性を生かす	ミニトマトを植えたことを基に、他にどんな野菜を育てたいか、ワークシートに理由も書き、グループで出し合う。	植えたい野菜とそのわけを書いた後、チャートを使ってグループで交流し、自分の思いを伝えると共に、友だちの考えにも共感できるようにした。	 きゅうりを作りたいです サラダにするとおいしいからです  作りた野菜とわけ
	育てたい野菜を決めよう	・伝え合い交流する場	グループ交流を行い、育てたい野菜について、観点決めて話し合う。	グループ交流で表を用い、視点にそって育てたい野菜を決定した。	 視点・・・いろいろな食べ方がある ・家族が喜ぶ・めずらしい きゅうりは、家族は好きだけど、めずらしくないよ
	ミニトマトのお世話をしよう	・試行錯誤や繰り返す活動	少し大きくなったミニトマトを観察して、どんなお世話ができるのか考え、試してみる。	北山さんに教えていただいたことを振り返り、自分たちでできるお世話を考えながら、水やりや脇芽摘み等を行った。	 わき芽はつんだらいいよ たおれないように支柱をたてたらいいね  ゆびであなをあけて二つずつ植えよう お水をあげるよ
	野菜を植えよう	・試行錯誤や繰り返す活動	自分たちで育てたいと決めたキュウリ、ピーマン、なす、とうもろこし、大豆の植え方を、北山さんに教えていただきながら植える。	JAの北山さんに来ていただいて、他の野菜の育て方の話を聞き植えていった。	 お水をあげるよ
	ミニトマトのお世話で、困ったことがおきたよ	・伝え合い交流する場	ミニトマト等を育てていく中で、気付いたことや困ったことを出し合い、どうすればよいか交流する。	友だちのミニトマトと比較して、ちがうところや育て方が分からないところなどを「困っているよカード」に書き、交流できるようにした。	 毎日水をあげているのに、なかなかミニトマトの実ができないよ
	野菜の世話を続けよう	・試行錯誤や繰り返す活動	みんなで交流したことを基に、野菜の世話をやってみる。	どのようにすれば、大きく育つか、交流したことや北山さんに聞き取りしたことを基に世話を続けた。	 カラスから実を食べられたのかな おうちから、きらきらのCDをもってきてぶらさげたよ
	収穫できた野菜を食べよう	・振り返り表現する機会	みんなで収穫の喜びを味わい、分け合って野菜を食べる。	自分たちで野菜を切ったり盛り付けたりすることで収穫の喜びを共有し、まだ育てている途中の野菜についてもこれからも大切に育てていく思いを持つようにした。	 ぼくたちが育てたきゅうりおいしい 
	まとめをしよう ふりかえろう	・振り返り表現する機会 ・伝え合い交流する場	野菜を育てたかった理由を思い出し、活動してきたことを振り返り、次の野菜作りの見通しを持つ。	ワークシートを用意し、活動を振り返ることで野菜作りを通じた自分の成長に気付くようにした。また、次の活動を考えるきっかけとした。	 ミニトマトを持って帰って家族と食べました 家族と思い出を作りたいです